

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部基盤技術支援センター	■担当係	基盤技術支援センター
■評価事業名称	新事業創出プロデューサー設置事業		
■評価事業コード	060500 - 103	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり	
	■基本施策	01 産業間連携の促進	
	■施策	01 次世代につながる産業間連携の促進	
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称	北上市工業振興計画		
■事業の概要	適切な専門家の助言・指導により市内製造業者の新事業創出を支援し、付加価値額の向上を図る。市内中小製造業者の付加価値向上を図るため、技術・経営・財務・販路開拓等に関するアドバイスを行う新事業創出プロデューサーを企業に派遣する。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	新事業創出プロデューサー設置事業	市内中小製造業者		利用件数:1件 応募件数:1件 新事業創出件数:1件

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費			2,280	2,910	
人件費			162	472	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト			2,442	3,382	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	利用企業数			1	1	

# 事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

24年度は新製品開発および販路開拓を実施。新事業には初期投資・知識が必要なためリスクが大きい。もっとも負担の大きい講師分を事業措置することにより、新製品につながった。

### 問題点・課題等

当該企業がターゲットを明確にしており、かつプロデューサーの選出が重要。プロデューサーがなかなか見つからないケースもある。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

### 3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

### 補足説明

24年度から類似の国の事業が出てきた